



令和4年度
福島小学校だより

ふくしま

第17号 6月 6日
八女市立福島小学校
校長 安達 浩文



福 島 小 魂



5月28日(土)2年ぶりに全校児童そろってのスポーツフェスタ(運動会)を行うことができました。当日は好天だったため熱中症が心配されました。本部テントに熱中症度計を持ち込み、様子を見ながらの開催となりました。気温が、ある程度高くても湿度が23%前後と低かったため、暑さ指数は「警戒」や「嚴重警戒」「危険」といった値になることはありませんでした。本番では、各学年や係活動の児童がキビキビと行動できたので、予定していたよりも早め早めに進行でき、給水タイムもたっぷりと取ることができました。ただ、保護者の皆様にお知らせしていた時刻より、演技や競技が早まってしまったことについては、深くお詫び致します。

私が印象に残ったことの一つに、閉会式で6年生の江頭那(とも)さんが言った閉会の言葉があります。
『～ぼくたちの熱い思いは伝わったでしょうか。1～5年生のみなさんは、ぼくたちの魂を受け継いで来年はもっともっとすばらしいスポーツフェスタにしてください。』

演技や係活動でも躍動した6年生でしたが、給食終了後、暑い中スポーツフェスタの後片付けを行いました。グラウンドを中心に土のうやテント、入退場門など運び、終わったあとの子どもたちの表情は達成感でいっぱいのようなものでした。…「やる時はやる」…これこそ『福島小魂』であり、それが見事に発揮された姿だったと思います。5年生も校内の全学年の廊下を掃いたり拭いたり熱心に行うことが出来ました。こういった姿が上級生から下級生に引き継がれていくように、そして、達成感でいっぱいの表情が様々な教育活動で見られるよう工夫してまいります。

保護者の皆様には早朝よりご観覧いただきありがとうございました。また、PTA 役員の皆様には、検温や手指消毒を行っていただいたこと、消防団第一分団の皆様には前日に放水訓練を兼ねたグラウンドへの水撒きを行っていただいたこと、心より感謝申し上げます。また、スポーツフェスタ終了後、児童テントの解体をたくさんの保護者の方々がお手伝い下さいました。併せてお礼申し上げます。



気持ちの良い挨拶が・・・



一ヶ月に一度、福島校区の民生委員さん方が集まる会合があり、都合がつけば私も参加させて頂き、学校の様子等を報告しています。6月初めに行われたその会で、委員のお一人が「最近、福島小学校の子どもたちがよく挨拶をします」と発言されました。すると別の方も「そうそう、私が挨拶しようと思っていると、先に挨拶する子どもさんもいますよ。しかもきちんと立ち止まって・・・」と言われ、たくさんの方が同意するように頷かれました。挨拶できる子どもが増えていること、とても嬉しく思いました。

本年度の本校の目標の一つが『自分から挨拶できる子ども』です。学校でも指導していますが、挨拶できる子どもが増えたのは、おそらくご家庭でもご指導いただいている成果だと思います。青少年の健全育成に長年取り組んである方が、いつもおっしゃるのは『家族間で挨拶の習慣のある家庭の子どもは、家の外でも挨拶ができる。』ということです。挨拶をすることで、他者との望ましい関係を構築したり、将来にわたって社会生活を円滑に行う基礎を培ったりすることができます。家庭・地域・学校、それぞれが役割を果たしながら「挨拶」できる子どもを育てていきたいものです。

スポーツ推進委員さんに協力いただきました



6月3日(金)体カテストを行いました。今年は、八女市のスポーツ推進委員さん方に来ていただき、測定の方法や記録の仕方、実施上の注意点等を指導していただきました。ソフトボール投げ、長座体前屈、反復横跳びの3項目でしたが、子どもたちも意欲的に取り組むことができました。スポーツ推進委員さん方には心からお礼申し上げます。

